

大切な

ペットのための

できること

ペットは大事な家族

コロナ禍のなか、自宅で過ごす時間が増え、ペットを飼い始める人が増えました。ペットがいることによって、心が癒やされ温かい気持ちになる方も多いと思います。ペットと一緒に過ごす家族です。家の中でも家の外でも、マナーを守るようにきちんとしつけましょう。

その飼い方は大丈夫？

野良猫であっても、餌を与えるということは飼っているのと同じことです。餌を与えるのであれば、責任を持ってトイレを用意し、排せつ物の処理までしてあげましょう。

愛犬との散歩の際も、排せつ物を

きちんと持ち帰れるよう、袋などを持ち歩きましょう。また、犬が興奮しても対処できるように必ずリードをつけましょう。

ふん尿被害の苦情やご近所トラブルがないように配慮するのも飼い主の責任です。

猫を飼うなら室内で

猫にとって家の外は危険でいっぱい。感染症、交通事故、迷子、誘拐、予期せぬ繁殖、近所からの苦情……。これらを防ぐために、飼い猫の室内飼いを願います。猫も飼い主もご近所さんも、みんなが平和に過ごせるような飼い方を心掛けましょう。

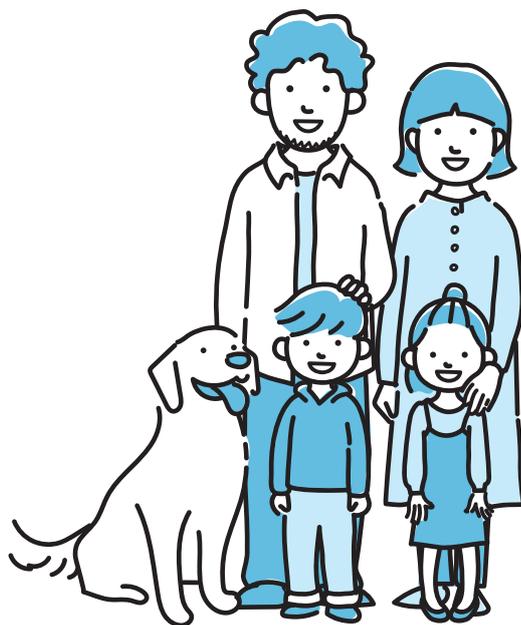
犬猫去勢等補助金制度

飼い犬・飼い猫の去勢、避妊手術に対する補助金の制度があります。申請を希望される方は、必ず手術前に申し込んでください。

4月4日（月）から受け付けを開始します。詳細は町ホームページをご覧ください。環境衛生課（吉備庁舎）までお問い合わせください。

狂犬病予防注射

日本では、すべての犬に狂犬病予防注射が義務づけられています。予防注射は動物病院でもできますし、4月中・下旬には町内で集合注射を行います。4〜5ページで集合注射の日程をお知らせします。



🐾 狂犬病とは

「狂犬病」は一度発症してしまうと、人・動物共に100%に近い確率で死亡する大変恐ろしい病気です。狂犬病には次のような特徴があります。

- ・有効な治療法がないため、発症すれば100%近い確率で死亡する。
- ・狂犬病患者の大半は潜伏期間が1〜3か月と長い。
- ・発症する前に狂犬病ウイルスに感染しているかどうかを検査する方法がない。
- ・ほとんどすべての哺乳動物が感染・発症するが、地域によって主に感染源となる動物が異なる。
- ・狂犬病ウイルスは消毒薬には抵抗力が弱い、発症後に有効な薬剤はない。